

第 8 回福生市基本構想審議会（議事要旨）

■ 開催概要

日 時	平成 21 年 3 月 16 日（月） 16：00～17：15		会 場	庁議室
参加者	審議会 委 員	（出席） 鵜野 貴洋恵、加藤 浩子、小林 歌子、清水 貞夫、高田 ヒロ子、 高橋 勉、田村 利光、辻山 幸宣、濱中 供子、日野 さよ子、 村山 利夫、山口 浩、山下 真一、渡邊 一成 （敬称略、委員名簿順）		
		（欠席）		
	市職員	副市長、教育長、企画財政部参事、企画財政部長		
事務局	企画調整課長、課長補佐、担当主査、主任、主事			
配布資料	1 福生市基本構想(第 4 期)答申案 2 第 7 回福生市基本構想審議会（議事要旨）			

■ 議事と要旨

1. 開会	・事務局より資料の確認
2. 会長あいさつ （村山会長）	・半年にわたって皆さんに議論いただきました基本構想も、ようやく最終のところに入り着いております。この期に及んでもご意見があれば、忌憚のないご意見をおっしゃっていただいて、悔いのない最終版にしていればと思っています。
3. 議題	○福生市基本構想最終答申案（案）について ＊事務局より前回会議の意見を踏まえて修正した基本構想（第 4 期）答申（案）について、変更箇所等の内容を各ページごとに説明。 ＊委員から、「このまちが好き 夢かなうまち 福生」のキャッチフレーズ決定の経緯について紹介をいただきたい旨の発言があり、村山会長及び事務局より以下の説明があった。 （村山会長） ・皆さんからそれぞれご意見を出していただき、それらの共通の狙いを汲んだ言葉にまとめていくということで、前回、1つのたたき台として出されていた案を、それをさらに、事務局や山下副会長ともご相談して、一番納まりやすいところで、本案のキャッチフレーズが出てきた。 ・まずは福生を愛していただく。欠点ばかりを探すのではなく、好きな所をみんなで見つけていくことが必要。 ・「夢かなうまち」というのは、無関心でいれば誰かがやってくれるというのではなくて、皆さん全員で参画していただいて、その結果として夢かなうということ。そういう目標を掲げましょうということで、このキャッチフレーズになった。

3. 議題 続き	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 皆様からいただきましたそれぞれのキャッチフレーズ、どれも甲乙つけがたく、全て採用したいような思いで、市長に伝えた。その中でもポイントとなったのは、あまり長くなく、短いフレーズにしたほうがいいのではないかということ。もう一つは、小さなお子様でも分かる、そういった表現・フレーズがいいのではないかということ。それと、委員の皆様のご意見を尊重するというので、これがという言葉ではなかったが、これらを全て集約するような形の表現を、市長に考えていただき、それを正副会長にもう一度戻して、ご理解をいただいた。 <p>*その他、委員から答申（案）に対する異論はなく、原案の通り承認された。</p>
4. 答申	<p>*委員署名の後、加藤市長に答申書が手渡された。</p> <p>*村山会長からの挨拶（要旨）は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第4期の基本構想策定に当たっては、私たちを取り巻く社会的・経済的背景や、価値観の大きな変化に鑑み、あらゆる面で改めて行政の基本について検討した。また、基本構想市民会議の方々による基本構想市民提言「全員参加のハーモニー」については、その提言を参考に審議を進めた。過日、提出した中間答申案については、パブリックコメントを実施し、より広く市民の皆様からご意見をいただき、併せて審議した。 福生市が抱える課題と対応すべき方向、あるいは福生らしさをどのように表すか、住みたい町とはどのような町なのかなど、本基本構想には、まちづくりに関わる市民・行政・議会による一層の連携を提案している。 <p>*加藤市長からの挨拶（要旨）は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> 短い期間でしたが、毎月熱心にご審議・ご検討いただいたと担当からも聞いており、改めて皆様のご尽力に感謝申し上げます。 第1回の審議会で、私のまちづくりへの思いを述べさせていただきました。その時に、最近、福生の町が元気がないのではないかと。それを思って、私も市民の皆様に「五つの元気」という形で公約をさせていただきました。重要なのはこれからの10年だと思っている。この方針に基づいて、これからの10年やっていこうというふうな気持ちですので、これからも何卒見守っていただき、いろんなご提言もいただければというふうに思っている。本日いただいた答申は、そのための行動指針となる思いを込められていると感じている。 また、提案された将来都市像のキャッチフレーズについては、どれも委員の皆様のお考えが溢れ、選ぶのが大変難しい状況であった。私としては、会長および副会長の思いも充分勘案いたしまして、委員の皆様のお考えも集約したものとしまして、「このまちが好き 夢かなうまち 福生」を将来都市像のキャッチフレーズとしていただければ。 誰もが住みたくある夢のある町にしていくには、福生に愛着を持って、この町をもっと良くしたいという願いや希望をかなえられる市民の方々が多く住むまちづくり・ひとづくりを目標としたい。
5. 閉会	<p>*事務局あいさつにより閉会。</p>

(17 : 15)

以上